

四国土地改良調査管理事務所だより

農業農村
長米農林

しこくみち

Vol.19 2017. 11



豊稔池（香川県観音寺市）

目次

INDEX

■業務内容の紹介
■地域情報

優良工事等局長表彰で優良業務受賞（道前平野地区）	1
高野地集落協定（愛媛県八幡浜市）	3
（農）たどつオリーブ生産組合（香川県多度津町）	4
面河ダム公園周辺の清掃活動に参加	5
若手農業者が先導する新規作物の導入と産地づくり （徳島県阿波市）	6

農林水産省
中国四国農政局

優良工事等局長表彰で優良業務受賞（道前平野地区）

平成28年度に「優良工事等中国四国農政局長表彰」を受賞した道前平野地区（平成26年度国営地区調査着手、平成28年度事業着工）の2つの業務について紹介します。

本表彰制度は、工事・業務・新技術の開発又は導入においてその成果が優秀であり、他の模範となる受注者等を対象に表彰を行い、設計・施工技術のレベルアップ等、受注者等の意欲の高揚を図り、もって事業の円滑な推進に資することを目的として実施しています。

◆平成27年度 国営地区調査 道前平野地区区画整理計画取りまとめその他業務

概要

本業務は、国営緊急農地再編整備事業の事業計画書（案）及び各種参考資料の取りまとめを行うものである。

（作業内容）

補償物件調査	1式
整備計画の検討	1式
用水計画の検討	1式
事業計画書（案）等の取りまとめ	1式
排水計画の検討	1式

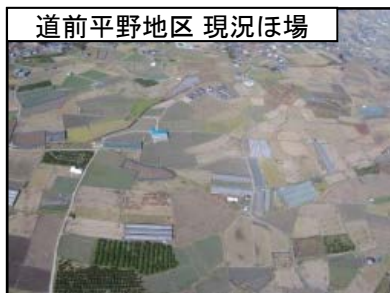
（工期）

平成27年7月30日
～平成28年3月25日

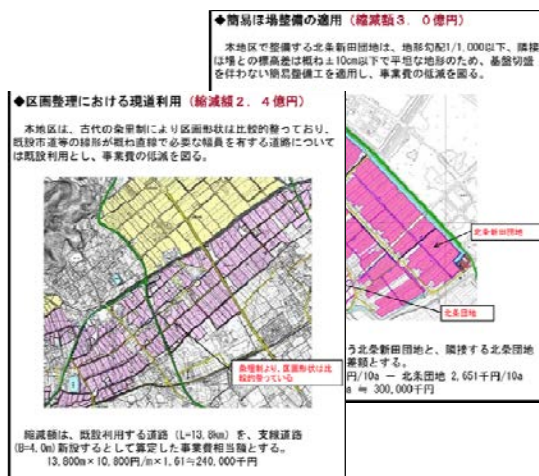
受賞理由

- 1 地区内の平坦地・準平坦地では、営農条件等から標準区画は50aで2～4区画を一均平区とし、将来的に大区画化が可能となるよう計画した。
- 2 地区内の区画形状が比較的整っていたことから、既設の市道を利用するほ場整備計画とし、ほ場の高低差が殆どない地域は基盤切盛を伴わない簡易な整備とすることで、事業費の縮減を図った。
- 3 本業務の専門技術者チームを編成し、社を挙げて集中して、事業計画書（案）等の基礎資料の作成を行った結果、工期途中の事業計画を説明する会議で活用することが出来た。

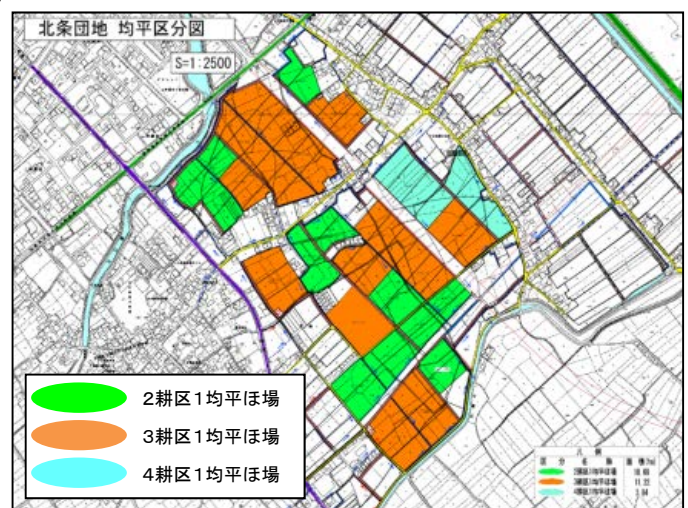
以上のとおり、事業計画策定にあたって、事業費の縮減を図り、将来に大区画化も可能な計画としたこと、また、事業計画書策定のための基礎資料を早期に取りまとめ、業務途中での会議資料の作成等、発注者の要望に的確に対応したことは、高く評価できる。



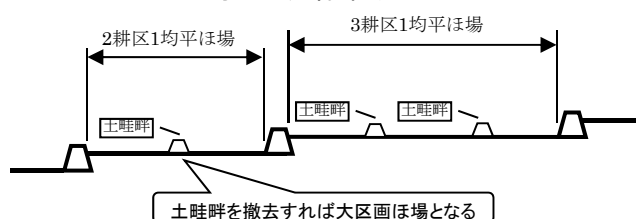
コスト縮減計画



北条団地 均平区分図



均平区分標準断面図



◆平成27年度 国営地区調査 道前平野地区経済効果算定とりまとめ業務

概要

本業務は、国営緊急農地再編整備事業「道前平野地区」の整備計画（区画整理、農業用排水）に基づいた経済効果算定とりまとめ、営農計画及び事業計画書（案）の精査を行ったものである。

（作業内容）

営農計画の精査	1式
経済効果の精査	1式
事業計画書（案）の精査	1式

（工期）

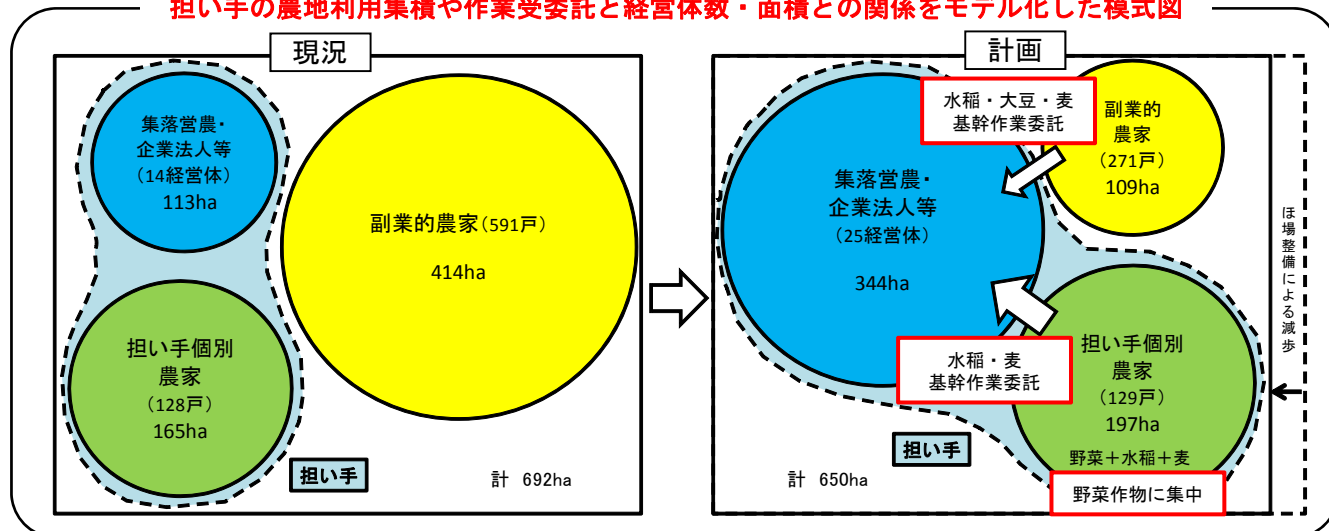
平成27年5月26日
～平成28年3月10日

受賞理由

- 1 西条市が策定した広域農業高付加価値化等基盤整備基本構想や担い手農地利用集積計画と土地利用・経営計画との整合を図るため、地区内外の担い手の農地利用集積や作業受委託と経営体数・面積との関係をモデル化し、簡易な模式図にしたことにより、事業による営農の変化を明確に捉えた。
- 2 また、営農類型・経営規模等について、同じ栽培作物においても営農形態が違ふことから、機械化・作業体系別に算定タイプを細かに設定し、機械規模と作付面積に応じた営農経費節減効果の算定を行った。
- 3 更に、過去に行った業務の中で農家からの聞き取り情報やほ場の水管理作業時間調査等のデータを蓄積しており、それらデータを営農計画等の作成に活用した。

以上のとおり、受注者の蓄積データを活用し、西条市が策定した既存の計画とも整合させ、完成度の高い営農計画の策定及び経済効果の算定を行ったことは、高く評価できる。

担い手の農地利用集積や作業受委託と経営体数・面積との関係をモデル化した模式図



営農経費節減効果の算定基礎資料

～土地利用型作物（水稲・大豆・麦）における営農形態別算定タイプの設定～

土地利用計画を踏まえた営農類型の整理			栽培作物が同じでも営農形態に応じて細かくタイプを設定			備考 (ha当たり 営農経費)
営農類型 (栽培作物)	現況 機械化体系・ 作業体系	算定タイプ	計画 機械化体系・ 作業体系	算定タイプ	算定タイプの設定基礎	
水稲+大豆+麦	大型・組織利用 (大型トラクター保有)	組織営農	大型・組織利用・作業受託 (大型トラクター保有)	組織営農	作業体系、機械化体系、保有形態、大規模経営等が類似	単独で算定
さといも+水稲+麦	小型・個別利用	個別営農	小型・共同利用・基幹3作業委託	野菜複合Ⅰ	作業体系、機械化体系、中規模経営等が類似	各類型の作付面積で加重平均
ブロッコリー+水稲+麦			小型・共同利用・基幹3作業委託	野菜複合Ⅱ	作業体系、機械化体系、集約経営規模等が類似	
夏秋きゅうり+水稲+麦			小型・共同利用・基幹3作業委託	野菜複合Ⅱ	作業体系、機械化体系、集約経営規模等が類似	
アスパラガス+水稲+麦			小型・共同利用・基幹3作業委託	野菜複合Ⅱ	作業体系、機械化体系、集約経営規模等が類似	
いちご+水稲+麦			小型・共同利用・基幹3作業委託	野菜複合Ⅱ	作業体系、機械化体系、集約経営規模等が類似	
水稲+大豆+麦			小型・共同利用・基幹2作業委託	個別営農	作業体系、機械化体系、保有形態、零細規模経営等が類似	単独で算定

平成28年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 最優秀賞受賞組織

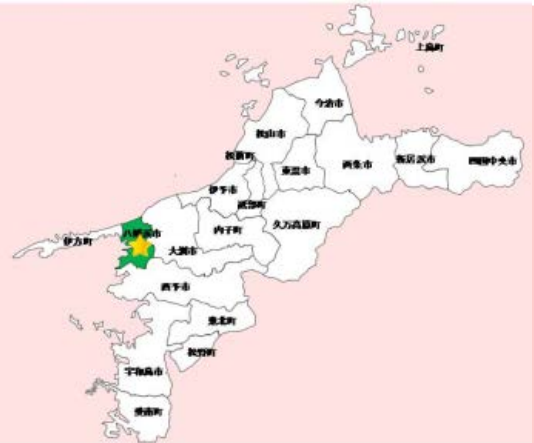
中国四国農政局では、水路や農道等の地域資源の保安全管理、生産条件不利地における農業生産活動等の維持及び環境保全効果の高い営農活動など、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動を支援する事業に取り組む優良な組織等を表彰しています。

今回は、平成28年度に「最優秀賞」を受賞した中山間地域等直接支払の活動組織を紹介します。

たかのじ 「高野地集落協定」（愛媛県八幡浜市）

- (1) 協定農用地面積：75.7ha
畑（急傾斜75.2ha、緩傾斜0.4ha）
・・・柑橘・キウイ・柿・ブドウ
- (2) 交付金額：1,305万円
うち共同取組活動分 100%
体制整備単価（B要件※）、超急傾斜加算

※B要件：女性・若者等の参画を得た取組



【地区の概要】

国営南予用水地区の受益地である高野地集落は、西に宇和海を望む八幡浜市の標高200～400mに位置し、ほぼ全戸が果樹農家（専業が70%）の集落です。温州みかんを中心とした柑橘に、ブドウ・柿・キウイ・梨などの落葉果樹を組み合わせた複合経営を行っています。

かんがい事業の検討を契機に、平成23年に、こどもから高齢者まで集落ぐるみでワークショップを実施し、集落の良さ、課題を再認識するとともに「四季百果 天空の里 高野地」をキャッチフレーズにした地域づくりに取り組んでいます。

【主な取組内容】

- 1期対策では鳥獣害対策、2期対策では営農支援に重点的に取り組み、3期対策からは共同取組活動費でかんがい事業の地元負担金を積み立てることで、円滑な事業実施による営農の課題解決を図っています。
- 共同取組活動費等により、集落ぐるみで鳥獣害対策の防護柵を設置するとともに、市内の猟友会と連携して箱ワナの設置等による駆除にも取り組んでいます。
- 女性有志が設立した「高野地フルーツ倶楽部」が、地場産農産物を加工し、道の駅、商店、イベント会場などで販売していますが、共同取組活動費による助成を受けて取組のさらなる拡充を図っています。



高野地集落の風景



ワークショップでの集落点検
地図の作成



フルーツ倶楽部による販売

地域活性化の先進的な取組（香川県多度津町）

農山漁村では高齢化や人口減少が都市部に先駆けて進行する中、豊かな地域資源を活かし、多様な人材が活躍できる魅力ある農山漁村づくりを推進しています。今回、香川県多度津町で農山漁村の活力創造に向け、先進的な取組を行っている「たどつオリーブ生産組合」を紹介します。

（農）たどつオリーブ生産組合（蒼のダイヤ）

～瀬戸内の小さな町で大きな愛を注いだ「蒼のダイヤ」～



統一ブランド「蒼のダイヤ」商品
（2015国際オリーブオイルコンテスト金賞受賞）



A-FIVEの出資を受け新設された加工場

取組内容

- 耕作放棄地を利用し、県花・県木であるオリーブを栽培。
- 町内企業と連携し、地場産オリーブを「蒼のダイヤ」というブランドで製品化。
- オリーブの佃煮など新商品を開発し、学校給食やイベントで普及活動を実施。

活動の効果

- 平成21年にかつてブドウ畑だった耕作放棄地にオリーブの植栽を開始、平成26年に農事組合法人たどつオリーブ生産組合を設立。平成27年に「ディスカバー農山漁村の宝」全国27代表に選定、新会社「蒼のダイヤ」を設立、A-FIVEの出資を受け平成28年に加工場を新設。
- オリーブ商品の販売拡充のために各地のイベントに参加し、消費者に「たどつオリーブ」をアピール。食の大博覧会で「たどつオリーブ」が一番美味しいとの言葉に感激。

応募団体からのアピールメッセージ

夢がかない6次産業化認定の「株式会社 蒼のダイヤ」を設立、加工場が完成し、平成28年秋に搾油を開始しました。

URL：http://www.aonodia.com

おもご 面河ダム公園周辺の清掃活動に参加

平成29年7月29日（土）、四国土地改良調査管理事務所有志は、愛媛県の久万高原町（くまこうげんちょう）で開催された『面河（おもご）ダム公園周辺の清掃活動』（道前道後土地改良区連合主催）に参加しました。

面河ダムは、農林省（当時）によって建設（昭和39年完成）され、道前道後用水の水源としておよそ50年もの間、道前道後平野に広がる農地に安定的に農業用水を供給しています。

この清掃活動は、道前道後用水の恩恵に感謝を込めて平成15年から毎年取り組まれており、当事務所も平成20年から有志が、継続して参加しています。

15回目の今年は地元久万高原町の住民、愛媛県や土地改良区の職員など15団体138名が参加し、共に汗を流しました。

真夏の炎天下での作業であることから、こまめに水分を補給し、足元に注意を払いながら、公園周辺に繁茂した雑草を草刈機により丁寧に刈り取っていききました。参加者の懸命な作業の甲斐あって、うっそうと生い茂っていた雑草はきれいに刈り取られ、作業を終えた公園内は、見違えるようにきれいになりました。

今後も農業用施設が地域住民の憩いの場として親しまれるよう、このような清掃活動などを通じ地域に貢献していきます。



面河ダム全景写真



作業状況



草刈り作業中



作業終了後の風景

「高収益な農業に取り組む現場から学ぶ―土地改良事業の実施地区から―」
若手農業者が先導する新規作物の導入と産地づくり 【徳島県阿波市】

※今回の事例は農林水産省のウェブサイトで公開されています。http://www.maff.go.jp/j/housin/kousyueki-zirei.html

【工夫のポイント】

- 安定した農業用水を利用した高収益作物の導入によって水稲と野菜を組み合わせた周年栽培を実現。
- 地域の若年層グループを中心とした直売や販路開拓などによるブランド化を通じて新たな導入品種である「美～ナス」(白ナス)の販売額が向上。
- 関係者の連携による栽培技術の伝承と後継者の育成にも取り組む。

【取組地域の概要】

- 位置
徳島県阿波市(特定農山村等)
- 傾斜
・約1/20程度
- 主要作物
・レタス ・ナス ・ミニトマト
- 主な支援対策
・国営かんがい排水事業(S46～H元)
・強い農業づくり交付金(H26)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・中山間地域等直接支払交付金(H12～)



吉野川北岸地区

徳島県

基盤整備

かんがい施設の整備による
労力の軽減と
品質・収量の安定化

かんがい排水事業により、安定的かつ自由な水利用が可能となったことで、かん水に係る労力の軽減や高収益作物の導入による営農の多角化が実現。



各ほ場に給水栓設置



幹線水路

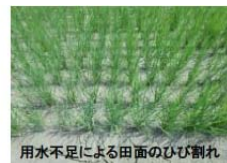
基盤整備
(S46年～H元年)

【整備前】

谷水や湧水等に頼る不安定な取水状況や用水不足による作物品種・収量の不安定さから施設栽培や高収益作物の導入に踏み切れずにいた。



施設整備前の用水施設



用水不足による田面のひび割れ

生産現場

水稲と野菜の周年栽培体制の導入



水稲とキャベツ
(写真奥では水稲を生産)

- 農業用水の安定供給により、早期米(〆刈り等の早生品種)と裏作の高収益作物を組み合わせた周年栽培を導入。
- 品質維持のための栽培農家の限定や、品質向上に向けた勉強会による栽培技術の共有にも取り組む。

加工・流通

販路開拓等による地域ブランド化の推進



産直市での販売

- 「美～ナス」を地域ブランドとして定着させるため、地域の産直市で販売。
- 若手農業者を中心として、インターネットや関西圏への独自の販路開拓を推進。ブランド化の取組と合わせ、市場における知名度の拡大にも取り組んでいる。

担い手

「農業後継者クラブ」による若手農業者の育成



若手農業者を対象とした勉強会

- 若手農業者を中心とした農業後継者クラブを創設。
- 市では農業後継者クラブを阿波市農業関係者連絡会の構成員とし、若手就業者の育成にも力を入れている。

若手農業者が中心となったブランド化による生産量及び販売額の向上

- 水稲と野菜の周年栽培を可能とする基盤整備や、若手農業者から組織される町づくりグループ「GOTTSO阿波」が中心となった販路開拓を通じて、新たな地域ブランドである「美～ナス」の生産販売額が向上。

ナス栽培は適切なかん水が重要！



美～ナス

「GOTTSO阿波」における美～ナスの生産推移



注) H28の販売額は前年度販売単価からの推計 【出展: GOTTSO阿波開き取り】

表紙紹介

ほうねんいけ

豊稔池（香川県観音寺市）

まるで中世ヨーロッパの古城を思わせる堂々たる風格。昭和5年（1930年）に 杵田川（くにたがわ）をせき止めて完成した豊稔池は、80年以上経過した今でも約500ヘクタールの水田を潤しながら、周囲の山あいと調和して見事な景観美を漂わせています。

堰堤が5つのアーチと6つの擁壁を持つマルチプルアーチ式という国内では前例のない形式であり、現在でもその技術は高い評価を得ています。さらに、洪水吐をサイフォン式構造にしたり、堰堤アーチ部にコンクリートブロックを採用するなど、当時としては斬新な技術が取り入れられています。

また、豊稔池のゆるぬきは、例年7月中旬から下旬に行われ、毎年多くの見物客が訪れています。



編集・発行

農林水産省 中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所

〒762-0086

香川県丸亀市飯山町真時677-1

TEL:0877-56-8260 FAX:0877-56-8266

HPアドレス: <http://www.maff.go.jp/chushi/kj/yontyou/index.html>

■ 南予用水支所 ■ 松山分室

〒791-8058

愛媛県松山市海岸通2426-5 松山港湾合同庁舎2F

TEL:089-989-7727 FAX:089-989-7884

■ 坂出分室

〒762-0001

香川県坂出市京町2丁目6番27号 坂出合同庁舎3F

TEL:0877-35-9912 FAX:0877-35-9918

■ 南国分室

〒782-0033

高知県香美市土佐山田町旭町1丁目4番10号 土佐山田地方合同庁舎3F

TEL:0887-52-8300 FAX:0887-52-8302



四国土地改良調査管理事務所



事務所の位置図